

# ライフイベント表



記入例を参考にしながら、実際にあなたの家のライフイベント（15年分）を書き出してみましょう。

（記入日 年 月 日現在）

年																				
年齢																				
教育・住宅・老後 （ ）費用																				
年齢																				
教育・住宅・老後 （ ）費用																				
年齢																				
教育・住宅・老後 （ ）費用																				
年齢																				
教育・住宅・老後 （ ）費用																				
年齢																				
教育・住宅・老後 （ ）費用																				
大きなお金の動き																				

# ライフイベント表の記入例



具体的な資金計画を立てる前に、まずはわが家のライフイベントを書き出してみましょう。ここでは、おもなライフイベントと大きなお金の動きを把握できるような形に書き出していきます。記入のステップは次の通りです。

## ①家族のイベントを書き込もう

ライフプランを設計するにあたっては、まずあなたや家族のライフイベントの把握から始めます。あなたや家族の年齢を最初に記入します。年齢は教育費を重視する時は4月2日、老後を考える時は1月1日時点で記入するとよいでしょう。次に、「教育」「住宅」「老後」などの資金別に、現在想定できるライフイベントを書き出していきます。子どもの進学予定などは、希望する進路があればそれにあわせて書き込みます。

## ②イベント費用を書き込もう

家族のライフイベントが把握できたら、それぞれのイベントにかかる費用を見積もります。ある程度の大きなお金が動く時は、万単位で金額を記入します。

## ③夢を織り込もう

現在、想定できるライフイベントと費用を書き込んだら、次に自分と家族の夢を織り込んでいきましょう。大きなお金が動く事柄でなくともかまいません。人生を楽しく過ごせることをどんどん考え書き込んでいきましょう。

## ④予定をしておけば、不安が安心に変わる

家族のイベントや大きな収入・支出をあらかじめ想定して書き出しておけば、予定がくるった場合でも調整しやすくなります。ばく然と未来を考えるのではなく、将来を見通せるようなライフプランを作れば、将来の不安を安心に変えていくことができます。

(記入日 2011 年 4 月 2 日現在)

年	2011-H23	2012-H24	2013-H25	2014-H26	2015-H27	2016-H28	2017-H29	2018-H30	2019-H31	2020-H32	2021-H33	2022-H34	2023-H35
太郎 年齢 教育・住宅・老後(車)費用	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
花子 年齢 教育・住宅・老後(旅行)費用	39	40	41	42	44	45	46	47	48	49	50	51	
共美 年齢 教育・住宅・老後(教育)費用	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
良濟 年齢 教育・住宅・老後(教育)費用	10	11	12	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
大きなお金の動き		1,000万円	70万円	270万円	70万円	230万円	130万円	130万円	350万円	80万円	80万円	80万円	

イベントが重なると出費が増える!

頭金こんなに貯められるかな?

大学と高校の入学が重なる!

私立ってどれくらいかかるんだろう?

高校授業料無償化続いているかな?

この年が教育費のピークに!

住宅ローンの支払いはいつまでかな?

そろそろ老後が心配...貯蓄はどれくらい残っているんだろう?

子どもが予定通りに独立しなかったらどうする?

就職独立?